

湖北省の概況

2025年3月作成

(1) 基本データ

◆湖北省について



省都	武漢市
面積	18.59 万km ²
常住人口	5,844 万人 (2022 年)
地級行政区	12 個 (うち、武漢市は副省級市)
書記	王忠林 (おう・りゅうりん) ※略歴は後述
省長	李殿勛 (り・でんくん) ※略歴は後述

<気候>

気候は夏が最も長く、冬が最も短い。省内の平均気温は 15～17 度である。最も寒い 1 月の平均気温は 2～4 度で、最も暑い 7 月の山岳地帯を除く平均気温は、27～29 度である。

<歴史：武昌蜂起>

湖北省の中で、最も重要な歴史的イベントといえば、辛亥革命のきっかけになった武昌蜂起だろう。ここでは、このイベントの概要を説明する。

◆背景

1901 年、清朝政府は義和団イベントの終結に際して、列強と北京議定書（辛丑和約）を締結した。その中には、4 億 5000 万両（テール）の賠償金を 1940 年までに分割して支払う項目があり、清朝政府はこの金額の捻出に苦労していた。

義和団イベント後、列強が中国国内で自国の勢力圏をうまく繋ぐべく、鉄道への投資を盛んに行っていた。ここに目を付けた当時の実業家である盛宣懷（せい・せんかい）が、中国国内の鉄道（幹線鉄道）をすべて国有化し、それを列強に売却することで、賠償金を捻出することを提案し、清朝政府に採用された。

◆事件前夜

鉄道国有化に対し、とりわけ四川省や広東省などの資本家は激しく抵抗した。この運動は「保路運動」と呼ばれ、各地に広がっていった。これを受け、政府側は四川省などに兵を派遣することになった。

当時、武漢では文学社と共進会という 2 つの革命グループが、蜂起にむけた準備をすすめていた。しかし、ささいなことでその計画が政府側に漏れてしまい、多くの逮捕者を出し、うち 3 名は処刑された。

◆事件の経過

10 月 10 日夜、革命軍はついに決起する。政府の関連施設に大砲を打ち込み、警備隊を攻撃するなど、激しい戦闘が繰り広げられた。結果、総督や軍幹部は逃げ出し、翌日の正午には革命家が武昌全域を手中に収めた。その後、革命軍は軍政府を設立し、黎元洪（れい・げんこう）をトップに置き、湖北省の漢口や漢陽にも進軍し、他省にも蜂起を呼び掛けた。この動きが他省に広がっていく過程から「辛亥革命」と呼ぶ。

一方の清朝政府は、北洋軍閥の袁世凱（えん・せいがい）に助けを求め、袁を武昌に

派遣する。しかし、袁は政府を裏切り、まず漢口と漢陽を奪回したのちに、攻撃を停止し、独自に革命軍と交渉を開始した。12月29日、上海で孫文が中華民国大総統に選出され、2月12日に溥儀が退位し、清国は滅亡した。

<行政区>

湖北省には12つの地級行政区があり、そのうち武漢市は大幅な自主権が与えられる副省級市である。

	市名称	よみ	一言メモ
1	武漢市	ぶかん-し	人口は1000万人以上で、中部最大の都市。
2	鄂州市	がくしゅう-し	「武昌」と「鄂州」は過去に地名を何度も交換
3	黄冈市	こうこう-し	最も東に位置し、安徽省などと境目を接する
4	黄石市	こうせき-し	境目を接する江西省の鉄道が走る。
5	荊門市	けいもん-し	省の中心に位置する
6	荊州市	けいしゅう-し	荊州古城は国家歴史文化名城
7	十堰市	じゅうえん-し	観光名所「武当山」がある
8	随州市	ずいしゅう-し	王朝の「隋」はこの地に由来する
9	襄陽市	じょうよう-し	長江最大支流「漢水」の重要な内陸河川港
10	咸寧市	かんねい-し	湖北省有数のリゾート地
11	孝感市	こうかん-し	父の葬式費用のために身売りをした話に由来 ¹
12	宜昌市	ぎしゅう-し	三峡ダムがある

(2) 経済概況

2022年、湖北省の域内総生産（GRP）は5兆3,735億元（前年比+4.3%）、一人当たり平均のGRPは、92,059元である。第1～3次産業の中では第3次産業が約半分を占め、その中で金融業が前年比+5.6%と最も伸長している。

項目	湖北省 ※カッコ内は前年比
域内総生産 (GRP)	5兆3,735億元 (+4.3%) 第1次産業：4,987億元 (+3.8%) 第2次産業：21,241億元 (+6.6%)

¹ 親孝行という単語からも推測できるが、中国語の「孝」は親孝行の意味である。

	第3次産業：27,508 億元（+2.7%）
1人当たりGRP	92,059 元（+3.8%）
1人当たり可処分所得	32,914 元（+6.8%） 都市住民：42,626 元（+5.8%） 農村住民：19,709 元（+7.9%）
実質外資利用額	26.45 億ドル（+5.7%）
輸出入総額	6,171 億元（+14.9%） 輸出総額：4,209 億元（+20.0%） 輸入総額：1,962 億元（+5.4%）
貨物取扱量	7,545 億トンキロ ² （+11.9%）
旅客輸送量	538 億人キロ（-27.7%）

◆交通インフラ

鉄道：京広線、京九線、武九鉄路、襄渝線、漢丹線、焦柳線、長荆線、宜万鉄路、渝利鉄路がある。高速鉄道は、京広高鉄、漢丹高鉄、漢宜旅客専用線などがある。

道路：すべての県や市を結んでおり、一般道はおよそ 29 万 km、高速道路はおよそ 7,598km に達する。

空港：全国 10 大空港のひとつで、中部最大の空港である武漢天河国際空港がある。日本とは東京（成田）、名古屋、大阪（関空）、福岡との間に直行便が就航している。このほか、5つの民間機用空港があり、新空港の建設も進めている。

◆日系企業の進出状況³

数多くの大手企業が武漢を中心に進出しており、日本製鉄、みずほ銀行、三菱 UFJ 銀行、豊田通商、イオン、岩谷産業、ダイキン、全日本空輸（以上、順不同）などが現地法人を持っている。また、武漢日本商工会には、現在 161 社が会員企業となっている。

◆湖北省に本社がある中国の有名企業

<東風汽車集団有限公司>

² 物流用語。トンキロとは、貨物の輸送量を表す単位のこと、貨物の重量（トン数）にそれぞれの貨物の輸送距離（キロメートル）を乗じて算出する。

³ 武漢日本商工会の公式サイトにある情報をもとに作成

中国の3大国有自動車メーカーで、本社が武漢市にある。日本関係では、日産自動車と本田技研工業と合併会社を設立している。

<武漢鋼鉄（集団）公司>

中国第3位の国有鉄鋼会社。日本製鉄が2011年にプリキを製造・販売する合併会社を設立した⁴。

(3) その他情報

1. 日本の友好都市・姉妹都市

	日本の都市	湖北省の都市	締結年月日
1	福島県会津若松市	荊州市	1991年6月15日
2	福島県二本松市	京山県	1994年10月16日
3	新潟県三条市	鄂州市	1994年4月28日
4	愛知県犬山市	襄陽市	1983年3月13日
5	岐阜県関市	黄石市	1997年12月1日
6	大分県大分市	武漢市	1979年9月7日
7	大分県豊後大野市	武漢市花山鎮	1980年9月7日
8	大分県豊後大野市	荊州市荊州区	1994年9月26日

2. 湖北省の名所

・神農架（しんのうか）

中国で唯一「林区」という行政区に属する。国の自然保護区で、世界自然遺産にも登録されている。写真が物語る大自然ゆえ、野人伝説や孫悟空のモデルになった猿が生息するなど、私たちにとって、未知の世界が広がっている。

・武当山（ぶとうさん）

道教の山で、武当拳発祥の地である。一度は元に建築群を破壊され、明の時代に再建されたという、当時の元の領土の広さを物語るエピソードも残っている。1994年に、世界文

⁴ プレスリリース：https://www.nipponsteel.com/news/old_nsc/detail/index.html?rec_id=4335

化遺産に登録された。

・明顕陵（みんけんりょう）

明の時代の皇帝陵墓は、そのほとんどが北京の「明十三陵」にあるが、ここは例外である。ここは、第12代皇帝嘉靖帝（かせいてい）の父・興献王の墓である。実は、嘉靖帝は叔父である第11代皇帝正徳帝に跡継ぎがいなかったことから、皇位を継承した。しかし、その際に、形式上正徳帝が父であるということにしなければいけなかったが、嘉靖帝はこれを拒否し、「大礼の議」という論争の末、実父の興献王を「興献帝（その後、献皇帝に改名）」とし、正式に先代の皇帝という扱いになった。ここには、嘉靖帝の父（興献帝）と母が埋葬されている。一つの陵墓に2つの家系が埋葬されるのは歴史上、明顕陵のみで、世界文化遺産にも登録されている。

・三峡ダム

国共内戦や文化大革命などを乗り越え、長年の構想が2009年によく完成した。中国語が「三峡水電站」であることから、ここでは水力発電がおこなわれており、世界最大の水力発電ダムである。

おまけ：武昌蜂起の場所は、今どうなっているのか？

武昌蜂起が始まった場所は「起義門（きぎもん）」と呼ばれている。もともと古城の中の「中和門」という名前だったが、1912年（武昌蜂起の翌年）に改名された。現在は、左の写真の門があるが、これは2011年に武漢市人民政府が当時の城壁をもとに復元したものである。最近になるまで残存する城壁の中の街並みは、「得勝橋（旧名称：武勝門正街）」という場所のみで、ここを中心とする街並みは600年以上もの歴史があった。しかし、そんな得勝橋も、2016年に取り壊しが始まり、人々は住まいを追われた。神農架や武当山といった場所は、人里離れた大自然で、国に保護されているが、人々と共存する建築は、徐々に現代化という渦に飲み込まれ、姿を消している。

(5) 湖北省指導者の略歴

王忠林（おう・ちゅうりん）書記

生年月日 : 1962年8月（62歳）
出身地 : 山東省臨沂市
最終学歴 : 中国海洋大学 農業経済管理学博士
民族 : 漢族

<主な略歴>

期間	役職
2011.11 - 2011.12	山東省棗莊市委常委
2011.12 - 2013.03	山東省聊城市委副書記
2013.03 - 2015.07	山東省聊城市委副書記、市長
2015.07 - 2016.11	山東省発展・改革委員会主任
2016.11 - 2017.04	山東省済南市委副書記、代理市長
2017.04 - 2018.05	山東省済南市委副書記、市長
2018.05 - 2020.02	山東省委常委、済南市委書記
2020.02 - 2021.04	湖北省委常委、武漢市委書記
2021.04 - 2021.05	湖北省委副書記、省政府党組書記
2021.05 - 2024.12	湖北省委副書記、省長（副省長、代理省長を経て）
2024.12 - 2025.01	湖北省委書記、省長
2025.01 - 現在	湖北省委書記、省人大常委会主任、省軍区党委第一書記 第20期中央委員

李殿勛（り・でんくん）省長

生年月日 : 1967年11月（57歳）
出身地 : 河南省駐馬店市
最終学歴 : 華東師範大学歴史学学士
民族 : 漢族

<主な略歴>

期間	役職
2015.02 - 2016.12	重慶市科学技術委員会主任、重慶市委科技工作委員会委員
2016.12 - 2018.01	重慶市委科技工作委員会書記、重慶市科学技術委員会主任
2018.01 - 2018.03	重慶市人民政府副市長、市委科技工作委員会書記、 市科学技術委員会主任
2018.03 - 2019.05	重慶市人民政府副市長
2019.05 - 2021.12	湖南省委常委、政法委書記
2021.12 - 2023.08	湖南省委常委、常務副省長、党組副書記
2023.08 - 2023.09	湖南省委副書記、常務副省長、党組副書記
2023.09 - 2024.12	湖南省委副書記
2024.12 - 2025.01	湖北省委副書記、省政府党組書記
2025.01 - 現在	湖北省委副書記、省長、党組書記、第 20 期中央候補委員